

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38613
事業名	中小企業DX推進費					
評価担当課	所 属	経)経済戦略推 イノベーション			電話番号	011-211-2379
施策名	IT分野やクリエイティブ分野、健康福祉・医療分野の産業が、国					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ● その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	札幌市の人口は減少局面に突入している。労働力不足が深刻化していく中で、企業の生産性向上・競争力強化の実現には、デジタル化、DXを推進していくことが不可欠である。
	事業内容(何を実施し)	①DXの普及促進やDX人材の育成を目的としたセミナー等の開催 DXセミナー:延べ219名が参加 DXマッチング:市内IT企業11社、市内中小企業7社が参加。 ②中小企業等にDXアドバイザーを派遣して行う伴走型支援制度の実施 市内中小企業30社を対象に、DXアドバイザーを派遣。DXに向けた課題把握から計画策定、ITツール導入、効果測定までを伴走支援した。 ③DX戦略の策定やDX人材を支援するワークショップの開催 経営層と担当者を対象とし全5回実施、12社が参加。 ④デジタル化促進補助金 さっぽろ連携中枢都市圏に本社を置く中小企業を補助:採択6件、応募17件。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	○DXに取り組んでいる企業又は取り組む意欲がある市内企業の増加 ○市内中小企業等におけるDXを推進することで、業務効率性向上及び競争力強化を実現し、市内産業の振興を図る
	他都市の状況	企業間取引デジタル化専門家派遣(福岡市) 神戸市中小企業DXお助け隊事業(神戸市)
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	78,424 千円	うち特定財源	19,789 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度予算額	49,000 千円	うち特定財源	7,500 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度決算額	46,315 千円	うち特定財源	13,043 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和6年度予算額	50,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.4 人工

指標	アウトプット活動指標1	市内企業におけるデジタル化の取組への補助件数			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		11件	5件	6件	8件	8件	8件
	↓						
	アウトカム成果指標1	DXに取り組む(取り組もうとしている)市内企業の割合			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		28.70%	32.00%	28.60%	36%	38%	40%
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	一部未達である部分については、令和6年度から実施しているDX推進を目指す市内業界団体との連携や補助制度のレベルアップを継続することにより目標は達成する。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	市内中小企業が市内IT企業と共に実施する、DX化に係る費用の補助制度「デジタル化促進補助金」について、企業のデジタル化の取組段階に応じ、より細やかな支援を行えるよう組替えを実施した
来年度以降の方向性	DXの普及促進・育成から、伴走型相談支援、市内IT企業との協業機会創出、デジタル化及びDX推進に向けた補助制度等の各種支援を一気通貫で実施し、引き続きDXに取り組む市内企業の増加を目指す。